

<p>団体名</p>	<p>NPO法人心をつなぐホースセラピーぐりん・はあと</p>	<p>活動タイトル</p>	<p>生きづらさを抱える子どもや保護者を元気にし自己肯定感を高める支援活動</p>	
<p>望ましい社会状況および団体のビジョン（社会的役割と活動基盤）</p>			<p>■ 活動風景</p>	
<p>●地域の望ましい社会状況(ビジョン)</p>	<p>実現したいビジョンは、すべての子どもや保護者が、心身共に健康な状態で社会生活を営み、それぞれが自己肯定感に満ちた生き方ができる社会である。生きづらさを抱えている子どもたちに、ホースセラピーや自然とのかわりを通して、できたことによる自信を振り所に、より生活に活力を持てることをイメージしている。また、生きづらさを抱える子どもたちの親支援にも一層力を注ぎ、コミュニケーションにより心配事や悩み事を聞き、アドバイスすることで、子どもを育てる親自身を元気にする。私たちが行う体験的な活動を必要としている保育、教育の現場も少なくない。多忙化する現場の条項を鑑み、園・学校・関係団体の支援も同時に行う。支援をする多様な方々と一丸となって、誰もが幸せに生きる社会を実現したい。</p>		<p>訪問および個別のホースセラピーの様子 ～2頭のポニーとの乗馬・引き馬を楽しむ～</p>	 
<p>●団体の社会的役割(ミッション)</p>	<p>健康な人や心身に障がいを持った人など幼児から高齢者まですべての人に対して、豊かな環境の中で馬を活用したホースセラピーをはじめ、生き物や自然や農業に関わる活動により、心身ともに充実し生き甲斐をもって生活できるような支援に関する事業を行い、青少年の健全育成をはじめ、人と人との交流及び地域社会の発展に寄与することを目的とする</p>			
<p>●団体の活動基盤</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●望ましい人的資源：子どものひとりだち応援アドバイザー、メンタル心理士、おくらこどもクリニック、岐阜大学病院等の小児科医、みどり動物病院の獣医師、ボランティアスタッフ（うま娘）、馬の世話人（駒っこ）、子どもの未来と幸せを考えるぎふゆるネット、西濃家畜保健所 ●望ましい物的資源 <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所：①自宅、②みどり動物病院、③ゆらぎのひろば（馬場・広場・農園・作業小屋） ・動物：ポニー(3頭)、犬(2匹)、ウサギ（1羽） ・自然：いろんな広場、農園、河川敷 ●望ましい活動資金：参加者からの負担金、助成金、応援者からの寄付金 ●望ましい情報：学校の情報、支援団体の情報、医療の情報、福祉（障害）の情報 			
<p>■ 活動報告</p>			<p>■ 1年間の目標に対する達成状況(まとめ)</p>	
<p>●生きづらさを抱えた子どもたちのためのホースセラピー 個別では、主に土日祝祭日を利用して行った。一人40分間で乗馬やふれあいをして癒やしのひととき楽しんだ。昨年に比べ、定期的に利用する子どもや保護者が増えた。団体では、訪問と受入れの2つの形態で、保育園、幼稚園、小学校、特別支援学校の生きづらさを抱えた子どもたちを対象にした。2～3時間、乗馬やふれあいをして楽しんだ。</p> <p>●生きづらさを抱えた子どもをもつ保護者支援 子どものセラピーと同時に、保護者の相談にも応じた。希望者には一歩踏み込んだ個別の相談・支援も行い、迷い事・悩み事へのアドバイスをすることができた。 グループや小集団でのおしゃべりカフェを8回行うことができた。お互いに思いを出し合うことで安心感を与え、子育てへの活力に繋ぐことができた。</p> <p>●組織基盤の強化 乗馬指導スタッフ、馬のお世話ボランティア「うま娘」、馬の世話人「駒っこ」のいずれも、スタッフの増員ができ、余裕を持って安心・安全に活動を実施することができた。 昨年度に作成したマニュアルの活用と研修により、スタッフ育成を進めることができた。</p>			<p>ほぼ当初の計画通りに事業を実施することができた。保護者に対する個別の相談やおしゃべり・カフェも計画以上に実施でき、子どもや保護者の期待に応えることができた。年間実績（アウトカム）は以下の通り。 ※2022年9月～2023年8月の助成期間内</p> <p>●ホースセラピーの実施（受け入れ&訪問） 〔個別〕37日間（達成度103%）、延べ102人（達成度102%） 〔団体〕13園・校・団体（達成度100%）、延べ252人（達成度169%）</p> <p>●保護者支援の実施・・・計画以上に実施でき、保護者の期待に応えることができた。 〔個別・同時〕37日間（達成度103%）、延べ102人（達成度102%） 〔個別・希望〕80人（達成度133%）延べ88日間実施 〔グルウ・小集団のおしゃべり・カフェ〕8回（達成度200%）</p> <p>●組織基盤の強化・・・計画の成果を挙げることができ、組織的安定が実現できた。 〔スタッフ研修〕2回（達成度100%） 〔スタッフ増員〕乗馬：1名⇒3名、ボランティアうま娘：9人⇒11人 馬の世話人駒っこ：4人⇒7人</p>	
<p>■ 事業を通じて得られたノウハウ</p>			<p>■ 望ましい社会状況を達成するための課題</p>	
<p>●生きづらさを抱えた子どもたちのためのホースセラピー ・この2年間で従来に比べ、実施体制や活動スタイルが整い、効率的、効果的にホースセラピーを実施できる。このことにより、どのような子どもや保護者に対しても同質の内容を提供することができ、満足度を高めることができる。</p> <p>●生きづらさを抱えた子どもをもつ保護者支援 ・保護者支援の個別相談では、面談等により得られる情報をもとに、より正確なアセスメントができ、不安事や悩み事に対して的確なアドバイスができる。またおしゃべりカフェでは、対話交流の効果により、保護者の悩みや迷いを緩和できる。いずれも保護者のモチベーションを高めることができる。</p> <p>●組織基盤の強化 ・人員の増員により、安心・安全かつ、継続的に活動を実施することができる。 ・研修により、スタッフの質的向上が期待でき、人材育成の推進に繋がる。</p>			<p>コロナ禍が収束に向かい、行動制限が徐々に緩んできた中で、積極的に活動を展開することができ、私たちが行う活動に対する理解や意義が深まるとともに、期待が高まった。アウトカムの状況からもわかるように、ホースセラピーや相談を通して、生きづらさを抱えている子どもたちが満足感により、自信を取り戻し、自己肯定感が高まったと感じている。子どもや保護者との心の繋がりを強めたことで、安心して心配事や悩みを聞くことができ、より質の高いアドバイスもできた。子どもたちの変化により、保護者の心理的負担感・疲労感の緩和、閉塞状況の改善などができたと言える。</p> <p>一方では、私たちができる生きづらさを抱えた子どもやその親のための活動や支援には限界がある。私たちが異なる活動により同様な効果が得られる。多様な活動を実施している人や団体との繋がりを築き、情報交換や対話交流し、互いにもっているノウハウを共有しあうことで、一人でも多くの子どもや保護者に支援の手が届けばと考え、今後ネットワークづくりを進めていこうと考えている。</p>	
<p>■ 活動成果のアピールポイント（自由記入）</p>			<p>この1年間の活動を通じて</p>	<p>◎子どもたちの生きづらさの緩和、保護者の閉塞状況の改善に貢献 ◎組織基盤の向上と活動の安定的実施</p> <p>を達成しました。</p>
<p>■ 受益者の具体的な変化（自由記入）</p>			<p>生きづらさを抱えて、すべての事に意欲をなくしていた子どもが、社会との繋がりがもてるまでになった。興味あることにも夢中になり、着実に元気と自信を回復しつつある。現在、通信制高校に通学し、将来の夢に向かって努力をし続けている。</p>	